

VOL.178

農協からのお便り

1
2023

グリーン
地域と農業をむすぶJA広報誌
Green

新春

心穏やかな
一年になりますように



この会報は、環境に配慮する
取組みの一環としてFSC®
認証紙を使用しています。



JA 上川中央

URL <http://www.ja-kamikawa.or.jp/>



年頭にあたり

上川中央農業協同組合
代表理事組合長

大村正利

2023年（令和5年）の新春を組合員の皆様、並びに関係機関の皆様と共に健やかに迎えられました事を心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますとなかなか治まらないコロナによる悪影響は、春先より第7波、8波と感染拡大が繰り返され、身近なところでも感染者が増えるなど事業運営にも多少なりともダメージを受けました。

更に2月に突如始まったロシア・ウクライナ紛争や急激な円安など経済状況が大きく悪化し、日常生活物資の値上げラッシュにも繋がりが国民生活に暗い影を落としました。とりわけ、農業生産に不可欠な飼料、肥料、燃油など資材の値上がりは、この先に不安を残すこととなりました。

又、7月には元首相が襲撃されたことを発端に様々な社会問題が浮き彫りになった年でもありました。

そのような背景の中、米の作柄は大きな異常気象にも見舞われることもなく順調な生育を見て、作況指数は全道106、上川107という連続豊作年となり、当農協も契約を約1万俵上回る出荷を頂きました。

米質も良く、胴割れや腹白も昨年よりはかなり少なく高品位な米の生産となり、更には、食味の基準とされるタ

ンパク値も過去に無いほど低タンパク米が多い年となりました。

そのような中、上川管内12JAの出品による「ゆめぴりかコンテスト」では、当JA（愛別町内産）出品のゆめぴりかが2度目の地区金賞米に選ばれました。その後おこなわれた全道7地区の金賞米による全道大会では惜しくも最高金賞米とはなりませんでしたが、レベルの高い高品質良食味米の生産に取り組まれた生産者一人一人の努力の賜と感謝申し上げます。

畑作物については収量面、単価面で多少厳しかった品目もありましたが、そばの単価が持ち直すなど、総じて良好な年であったと思えます。

対して、畜産においては個体販売価格の低下や飼料高騰により厳しい販売環境となりました。きのこにおいても園芸開発課を新設し量販店等の直販に力を入れて参りましたが、需給状況が安定せず同じく厳しい状況です。

そんな状況の下でしたが、生産者各位のご努力とご協力のお陰で取扱高については計画比約98%、組合収支も当初計画をクリアできる見込みです。改めて生産者各位のご理解とご協力に感謝とお礼を申し上げる次第でございます。

本年に向かいは、なかなか終

息しないコロナや不安定な世界情勢、さらには飼料、肥料をはじめとする各生産資材の価格高騰、各交付金の見直し、過剰在庫解消に向けた取り組みなど懸念材料が多々ありますが、食料、エネルギー、経済の安全保障に向けて、「食料・農業・農村基本法」の改定議論も本格化してまいります。

JAも組合員の皆様と一丸となり課題を乗り越えながら少しでもメリット還元が出来得る事業の展開を推進してまいりますので、改めてご理解とご協力の程をお願い申し上げます。

今年はずき年の中の癸卯（みずのと・う）にあたります。物事の終わりと始まりを意味する「癸（みずのと）」。安全や温和、跳ね上がるという意味のある「卯（う）」。この組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になるといわれています。

癸卯にあやかりコロナなどで停滞している世の中が希望の年になることを切に願うところです。

結びに、本年が組合員の皆様をはじめ、各関係機関の皆様やすべての方々のご健勝と平穏で希望と喜びに溢れた年となることをお願いいたしまして年頭のあいさつとさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

謹賀新年

代表理事組合長	大村正利
常務理事	木村悦明
理事	岩城一憲
理事	伊藤章一
理事	青木光晴
理事	松岡康弘
理事	武田明彦
理事	昔農昌人
理事	遠藤初美
信用担当理事 兼金融部長	高橋勝彦
代表監事	田中敏明
監事	高田峰雄
員外監事	高柳修





令和5年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうござ
います。

組合員の皆様におかれましては、
日々営農に更に邁進されておられ
ることを存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一
丸となり地域農業の振興や地域
社会の発展に向け、日頃より多大
なご尽力をされていることに対し
まして、改めて敬意と感謝を申し
上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、
春先は天候に恵まれ地域によって
少雨の影響が見られたものの、そ
の後は順調に推移しておりました。
ただ、6月の降雪、8月の記録的
な大雨、9月の台風により、一部
地域、作物によっては、生育に大
きな影響が出たものがありました
が、収穫作業は総じて順調に進み、
天候の影響を大きく受けた作物を
除いては平年作を確保することが
できました。

しかしながら、新型コロナウイ

ルスとの戦いが長期化し、各農畜
産物の消費は依然として低迷して
おります。

さらに、国際紛争や急激な円安
の進行による飼料・肥料をはじめ
とした生産資材の高止まりが、農
業経営に与える影響は甚大であり、
北海道・全国連とも連携し、J A
グループ北海道としてしっかりと
その対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、
世界の食料需給事情が一変しまし
た。輸出制限を行い、自国の食料
を確保する各国の動きが活発化し、
世界的な人口増加による食料不足
問題など食料争奪合戦がすでに始
まっています。我が国の食料を安
定的にどう確保するのか。今こそ
大いに食料安全保障の国民的議論
が必要となっております。

J Aグループ北海道は、日本の
食料基地であるという使命感に立
ち、食料の安定生産・安定供給と
農畜産物の需要拡大を両輪として

引き続き取り組んで参ります。

今年は、第30回J A北海道大会
の実践2年度目となります。

決議された将来ビジョンである、
「北海道550万人と共に創る『力
強い農業』と『豊かな魅力ある地
域社会』の達成」の実現に向け、様々
な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状
況が続いておりますが、このよう
な状況であるからこそ、協同組合
運動の原点に立ち返り、相互扶助
の精神に基づき互いに協力し、力
を合わせこの難局を乗り越える必
要があります。

また、消費者に対しては、J A
グループが提唱する、自国の国民
が消費する食料はできるだけ自国
で生産するという「国消国産」に
対する理解を求め、消費者の行動
変容に結びつけていくことが望ま
れます。

このためには、組合員、消費者
との「対話」が重要となりますので、

組合員・役職員が一丸となってしつ
かりと取り組んで参りましょう。
結びになりますが、本年は卯年
です。卯は穏やかで温厚な性質で
あることから、「家内安全」、また、
その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」
を象徴するものとして親しまれて
きました。

他にも「植物の成長」という意
味もあり、新しいことに挑戦する
のに最適な年と言われています。
この謂われにあやかり、本年が豊
穰の年となること、新型コロナウイ
ルスの1日も早い終息と皆様のご
健勝をご祈念申し上げ、年頭のご
挨拶といたします。





新年の挨拶

JA上川中央青年部

部長 辰巳裕亮

明けましておめでとございませす。

依然として続くコロナ禍と同様に出口の見えないロシアのウクライナ侵攻。そうした世界情勢を背景とした円安・物価高…。

ネガティブな話題は枚挙に暇がない状況ではありますが、それでもこうして無事に皆様とともに新年を迎えることができたことに一時の安堵と喜びを感じております。

昨年の青年部活動を振り返りますと、上青協事業の「こはんが進む！農家メシ」企画において、女性部と合同で、上川と愛別の農産物を使用したレシピづくりに取り組みました。愛別産きのこを深谷豚豚でロールした「きのこの肉巻き」は旭川のJA上川ビル内にある「みはら食堂」にて期間限定メニューとして販売して頂きました。こちらのレシピは上川地区13単組のメニューと合わせて

レシピ集が作られましたので、機会があればぜひお手に取ってご覧ください。

ほかにも例年通りにフレッシュミズと合同で豊稔祈願祭・収穫感謝祭を開催できたこと、愛別夏祭りに出店したことなど、コロナ禍以前の活動を振り返りつつあるように思います。

12月には状況を伺いながらではありましたが、3年ぶりとなった野外視察研修を企画し青年部の全道大会に参加しました。

各地区の主張発表や活動実績報告を伺うなかで、コロナ禍においても苦悩しながら活動を続けてきた姿勢に感心すると同時に自分たちの青年部でもまだまだやれることがあったのだと反省しました。

そうした想いのなかで、昨年末の座談会では新たに青年部・女性部枠を設けて頂き、青年部として参加で

きたことは非常に有難い機会となりました。これを励みに農協職員との対話企画や部員ごうしの相互理解促進のための圃場見学勉強会などを積極的に企画して参りたいと思えます。

「一年の計は元日にあり」と申しますが、こうして昨年の活動を振り返りますと部長として反省することばかりであり、それでも支え続けられる部員をはじめとする皆様には感謝の言葉もありません。

この感謝の気持ちを少しでも形にするべくより精力的な青年部活動を展開していく所存ですので、各関係機関の皆様にはさらなるご指導・ご鞭撻のほどを心よりお願い申し上げます。年頭のあいさつに代えさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

謹賀新年

青年部

部長 辰巳 裕亮 (上川)

副部長 奥 典大 (愛別)

会 計 阪本 航大 (上川)

理 事 高井 啓 (愛別)

理 事 出戸 将太 (愛別)

理 事 遠藤 雅大 (上川)

理 事 岡田 恭兵 (愛別)

理 事 橋本 脩平 (愛別)

監 事 佐藤 直哉 (上川)

監 事 大野 真治 (愛別)

女性部愛別支部

部 長 藤村 仁美

副部長 鈴木よし子

理 事 中山智津子

理 事 木下枝美子

監 事 森定 典子

女性部上川支部

部 長 石山小百合

副部長 阪本 由美

副部長 福島 正子

監 事 岸田 春代

監 事 藤本美智子



新年のご挨拶

JA上川中央女性部愛別支部
部長 藤村 仁美

謹んで新年をお祝い申し上げます。

昨年は、燃料の高騰、資材・肥料等の高騰で大変なご苦労があったと思います。

女性部の活動も、本当に実行してもよいか、来てもらえるのだろうか、頭を悩ませつつ行いました。上川地区女性協議会の方も、最初はWEB会議対応から、来れる方は来て下さいと、両方使いながら行い、人数制限はありましたが7月頃から実開催が出来るようになりました。

そのような中で、6月に大雪森のガーデンでお花の寄せ植えをしたり、上川支部と合同でパークゴルフを行ったり、自然の中で密にならない様に來れる人達で無理をしない様にと、おかげさまで天気にも恵まれて、楽しく行うことができました。11月にはハンドメイド教室を行い、役員がレインポーコーンを植えていたのでドライフラワーを用意し、足りないところを買って、たくさんの方のスタッフを作ることができました。

皆様のご理解をいただきながら出来た事に感謝申し上げます。
今年はお料理教室や研修旅行など行きたいですね。信じれば叶うと言いますので、本年もより良い年になりますよう、変わらぬ御指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

皆様が御健勝で御多幸であります様、心からお祈り申し上げます。寒い日が続きますがご自愛下さい。



新年のあいさつ

JA上川中央女性部上川支部
部長 石山小百合

新年、明けましておめでとございませう。部員の皆様におかれましては、

ご家族の皆様と健やかに新しい年をお迎えの事とお喜び申し上げます。

また旧年中は、女性部活動に対して格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルスが続く中、行動制限の緩和があり、3年ぶりに上川地区女性協の視察研修や、全道女性部大会が開催され少しずつではありますが、以前の様な活動に戻りつつあると思ひ嬉しくなりました。

11月に、北海道LOVE割を利用して、道東方面での宿泊研修を行い、楽しいひとときを過ごしました。

愛別・上川女性部の合同研修はパークゴルフ大会。珍プレー・好プレー。楽しい研修となりました。

最後になりますが、各関係機関の皆様には、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻のほど心よりお願い申し上げます。新年のご挨拶と代えさせていただきます。



人生100年時代

アクティブシニアになるための 花咲く長寿食

シニアが時代をリードする面白い世の中になってきました。政治、経済はもちろん、景気、ファッション、グルメ、テレビの人気をリードするのは、今や元気な老人パワー。「アクティブ（活動的）新老人」の時代が幕開けしたのです。花咲けるおじさま、おばさまの時代。中年の次が老年で、老年の次が大老人。大老人は90歳以上のアクティブシニアといつてよいでしょう。

大老人たちの元気のもとが、食べ物であるの言うまでもありません。アクティブシニアになるための「花咲く長寿食」をご紹介します。



若さと美しさと大豆

花咲ける大老人となって100歳人生を「ワッハッハ」と楽しむためには、今日からその準備を開始すべきです。

長寿効果の高い食に気を配り、ストレスをためずによく笑い、とことと歩くこと。中でも重要なのは、毎日口にする食事です。近年、日本人が直面している筋力不足を補うタンパク質としても大豆タンパクは理想的。国産大豆の場合、約35%がタンパク質なのです。

体の筋肉量が十分でない、免疫力も下がり、高齢になったときの体力が低下して虚弱体質に陥りやすくなってしまいます。大豆に多いイソフラボンは女性ホルモンに似た働きで、女性の若さや美しさを保ってくれます。



監修・イラスト

食文化史研究家
日本の長寿食研究家
イラストレーター
永山久夫

1932(昭和7)年生まれで現在90歳。NHK「手こちゃんに叱られる」や「突撃!カネおくん」など多くのテレビ番組に出演。現在、徳川家康の長寿法についての本を執筆中。テレビでも講演でもよく笑う。

ご飯こそ 日本の長寿食

日本は「長寿のお国」として世界の憧れですが、米の力がなかったらこれほど長生きできなかったでしょうか。米に組み合わせてきた大豆、魚、野菜、海藻、山菜、キノコ、お茶などがことごとく健康食なのです。

日本人は米を縄文時代から現在まで約3000年も食べ続け、ついには世界トップクラスの長寿民族になりました。

米は炭水化物の塊と思われがちですが、タンパク質やビタミンB類、ビタミンE、カリウム、マグネシウム、亜鉛、食物繊維などを含むマルチフードなのです。むしろ現代人の脂質の取り過ぎを抑える上で役に立っています。ご飯を食べると食物繊維に似た効果で整腸作用を高める点にも注目。



「ごまみそで超元気」

ごまみそをベースにした「なめみそ」は、古代から長寿食として公家や僧家、それに武士の間で珍重されてきました。

米飯によく合うため、特に武士にとっては戦闘力を高める兵糧としても貴重であり、携帯食としてよく用いられていました。

ごまにもみそにも必須アミノ酸のトリプトファンが多い点が注目されます。トリプトファンは幸せホルモンと呼ばれるセロトニンの原料で、ストレスに負けない力となります。暗い気持ちが去り、いつもニコニコ顔になりますから、異性にもよく好かれ、好感度も高くなって人気者に。ビタミンB1も多いですから、多少無理しても疲れません。ウイルス感染を防ぐミネラルの亜鉛も含まれています。



「トマトは」

赤い長寿食

「トマトのある家に病人なし」。これは欧州に古くから伝わることわざ。確かにトマトにはビタミンや特殊成分など、健康強化に役立つ成分がたっぷり。

トマトに豊富なビタミンCは、体内でコラーゲンの生成に役立ち、血管をしなやかに保って、血栓の発生を防いでくれます。ウイルスなどに対する免疫力を高め、風邪を防ぐ働きもしています。

トマトの赤い色素のリコピンには強い抗酸化作用があり、体細胞の老化を防いで、長寿力を高めます。トマトにはペクチンやセルロースなどの食物繊維も多く、腸内環境を良くしてくれますから、お通じも良くなり、気分もルンルンと爽快になり、「ワッハッハ」と笑いも出ます。



「サケを食べて 免疫力強化」

肉質の赤いサケは立派な不老長寿食で、もともともと注目されても良いでしょう。肉質の赤さから他の魚とは違った神聖でおめでたい魚と考えられ、東日本を中心にお正月には欠かせません。

赤い色には、厄よけの効果があるとか、幸運を呼び込むパワーがあると信じられてきました。この赤い色素はアスタキサンチンという抗酸化成分で、老化防止や免疫力の強化、美肌効果、がんの予防などに期待されています。

サケの脂質にはDHA(ドコサヘキサエン酸)が多く、頭脳力を高めて記憶力の衰えを防ぐ働きがあり、同じくEPA(エイコサペンタエン酸)も含まれていて、こちらは血液をサラサラにする効果で注目されています。



《 年末年始における営業時間のお知らせ【訂正】 》

月 日	総務部 営農部 (本支所)	資材店舗 (本支所) 精米所	金融(本所・支所)		給油所	
			窓口	ATM	愛別	上川
12/30 (金) [通常営業]	8:30 ~ 17:30迄		9:00~ 16:00迄	8:45~ 18:00迄	8:00 ~ 18:00迄	
12/31 (土)	休業				8:00 ~ 12:00迄	
1/1 (日) [元旦]	休業					
1/2 (月) [振替休日]	休業					
1/3 (火)	休業					
1/4 (水)	休業	業	9:00~ 16:00迄	8:45~ 17:30迄	9:00 ~ 16:00迄	
1/5 (木)	休業	業	9:00~ 16:00迄	8:45~ 17:30迄	9:00 ~ 16:00迄	
※ 1/6 (金) [通常営業]	8:30 ~ 17:30迄		9:00~ 16:00迄	8:45~ 18:00迄	8:00 ~ 18:00迄	
1/7 (土)	休業			9:00~ 12:30迄	8:00 ~ 18:00迄	
1/8 (日)	休業				8:00~ 18:00迄	
1/9 (月) [成人の日]	休業				8:00~ 17:00迄	8:00~ 18:00迄
1/10 (火) [通常営業]	8:30 ~ 17:30迄		9:00~ 16:00迄	8:45~ 18:00迄	8:00 ~ 18:00迄	

※コロナウィルス感染拡大防止のため、1月6日の新規就農者激励会及び新年交礼会は中止し、通常業務といたしましたので訂正させていただきます。

《 金融部より》セブン銀行、コンビニATMは平日8:45~18:00・土曜9:00~14:00の時間帯は110円、日曜・祝日とその他の時間帯は220円のご利用手数料がかかります。

《 営農部より》期間中の農畜産物の受入時間などについては、各担当より別途ご連絡いたします。

JAへ就職希望者100%就職 (令和3年度実績)

令和5年度学生2次募集

- 募集人員 15名程度(定員60名) ●男女共学 ●1力年・全寮制 ●満24歳未満(令和4年4月1日現在)
- 大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日:令和5年2月4日(土)
- 願書受付:令和5年1月6日(金)~1月25日(水)消印有効
- 学校見学もできます

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町 43-1
☎0120-918-417 【JAカレッジ】で検索

お問合せ
資料請求

1月31日(火) 棚卸による
営業時間変更のお知らせ

事業年度末の棚卸業務により、営業時間を変更させていただきます。
皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解
よろしくお願い致します。

.....

○1月31日(火)

- ・資材店舗(本所・支所)・農機センター
休業
- ・ホクレン給油所(愛別・上川)
17:00まで短縮営業

組合員のうごき

(令和4年11月25日現在)
 正組合員戸数 231戸
 総組合員数 2,189名
 正組合員数 385名
 うち団体数 33団体
 准組合員数 1,804名
 うち団体数 57団体

福井 彩香

購買部資材課愛別資材係
 (H) 金融部管理金融課管理金融係
 (12月1日付)

伊藤 しづか

金融部管理金融課管理金融係
 (H) 購買部資材課愛別資材係

辞令交付

- 5日 第3四半期 監事監査(〜8日)
- 7日 愛別町農業青色申告会 税務研修会
- 22日 青色申告会年末調整説明会
- 第11回定例理事会
- 26日 鏡餅贈呈(愛別上川)
- 上川地区座談会
- 27日 愛別地区座談会
- 青年部女性部座談会
- 28日 仕事納め
- 30日



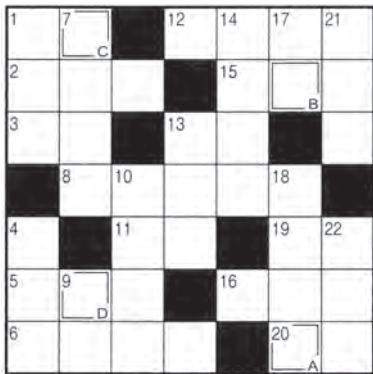
JAのあゆみ 12月

第10回定例理事会

令和4年11月25日開催

- 1 ■報告事項
組合員の脱退について
8名の脱退について報告した。
余剰金の運用状況について
10月末実績の運用状況について報告した。
3 営農経済専門委員会の内容報告について
本日開催された営農経済専門委員会の内容について報告した。
- 2 ■議事
出資持分の譲渡について
2名の譲渡について承認された。
組合員加入報告並びに組合員資格について
3名の組合員加入並びに組合員資格について承認された。
- 3 組合員の出資減口について
2名の出資減口について承認された。
4 臨時給与の支給基準について
12月支給予定の臨時給与について、支給基準などが承認された。
5 ハウスリース資産の取得・貸付について
4件の申込み内容について承認された。
6 令和4年産飼料用米に係る仮渡金について
対象数量及び仮渡単価に基づく仮渡金額について審議の結果、承認された。
7 令和5年営農計画審査方針並びに基準について
営農計画書作成に伴う審査方針並びに基準単価について承認された。
8 行政に対する要望・意見書について
令和5年度の愛別町上川町に対する要望内容を協議し、承認された。
9 資金の融資について
2件の融資案件について審議の結果承認された。
10 理事に対する資金の融資について
3名の理事に対する融資について利益相反取引により該当理事退席のもと審議され承認された。
11 第3四半期見直し計画について
10月末実績に基づき見直し計画について承認された。

パズル? 頭の体操



↓ タテのカギ

- 1 初詣で、受験を控える子の難関——を祈願した
- 4 2つで1組の——茶わん
- 7 客のためにワインを選びます
- 9 師匠の下で学びます
- 10 親から子へ受け継がれます
- 13 ——・中期・末期
- 14 年賀状によく書かれる2文字の熟語
- 17 湖に張った氷に穴を開けて楽しむことがあります
- 18 登山やキャンプで使う寝袋
- 21 コンコンと鳴く動物
- 22 警察は原則として——不介入です

→ ヨコのカギ

- 1 正月に飲む薬酒。お——気分がなかなか抜けない
- 2 髪の毛の渦巻き
- 3 エッフェル塔がある都市
- 5 練り物やダイコンを煮込んで作ります
- 6 自分より後に生まれた人はみんなこれ
- 8 食事の管理や指導を行います
- 11 去年はナスの——がとても良かった
- 12 太鼓や木琴やトライアングルなどのこと
- 13 毛筆でしたためることも
- 15 大学入学共通テストは国公立大学だけではなく——大学も利用しています
- 16 計画のこと。お得な宿泊——
- 19 京都・三十三間堂の通し矢で新成人が引きます
- 20 ——、ニタカ、三ナスビ

先月号の答え



解答 A B C D E
ユ キ ア ソ ビ





発行：上川中央農業協同組合

〒078-1495 北海道 上川郡愛別町字本町 125 tel (01658) 6-5311

編集：総務部企画課

E-mail: a-soumu@ja-kamikawa.or.jp



マイタケのマリネ

今日のオススメ

材料(4人分)

- マイタケ…………… 300g
- 白髪ネギ… 1本分(水にさらさない)
- 料理酒…………… 適宜
- 塩…………… 適宜
- マリネ液
 - オリーブ油 (エクストラバージン)… 大さじ2
 - レモン汁…………… 大さじ2
 - 白ワインビネガー…………… 大さじ1
 - 塩…………… 少々
- カットレモン…………… 1切
- パセリ…………… 適宜

作り方

- (1) オープンを200度に熱し(トースターでも可)、アルミホイルを敷き、マイタケをのせ料理酒を振りかけ、塩を振りマイタケを焼き上げる。
- (2) (1)のマイタケを冷まし、房を細かくほぐし、マリネ液の材料と白髪ネギを入れ混ぜ合わせる。
- (3) (2)を器に盛り付けカットレモンを添え、パセリを振りかけ出来上がり。

知りタイガーの JA 虎の巻



第29回 JA全国大会決議 JAグループの実践

[今回のテーマ]



JAグループがすすめる「国民理解の醸成」って、具体的にどういった取り組みなの？

私たちが生きていくうえで欠かせない「食」と、それを生産する「農」を未来につなぐため、その大切さについて国民全体で理解を深めていただくための取り組みです。



ロシアによるウクライナ侵攻等による影響で食料価格が世界的に上がったことで、食料の約6割を外国に頼ることの危うさが浮き彫りになりました。加えて、肥料や家畜のエサ、燃料など、農業生産に欠かせない資材の価格上昇が、生産現場に打撃を与えています。

こうした課題に対しJAグループは、『国』民が必要として『消』費する食料はなるべく『国』内で生『産』する『国消国産』という考え方の意義や、農畜産物を外的環境もふまえた適正な価格で販売することの重要性について、分かりやすい情報発信に取り組んでいます。

※2021年、カロリーベース

動画

林修先生のミニレッスン動画 みんなの食料安全保障(約7分)



JAグループサポーター 林先生と学ぶ

みんなの食料安全保障



JAグループサポーターの林修先生が、「国消国産」の意義や農畜産物の適正な価格形成の重要性について、分かりやすく解説する動画です。



耕そう、大地と地域のみらい。